

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用（児童発達）

公表日：30年12月15日

*（ ）数字は実数。利用者数18、回答数12。

事業所名：ぽぽデイ東山台

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	人数や活動内容に応じて、2Fを利用するなどして工夫しています。	(はい 7、どちらともいえない 1、いいえ 1、わからない 3) * 活動の様子がわからない。内部をしっかりと見たことがない。	内覧できる機会を設けるなど、発信の仕方を変えていきたいです。
	2 職員の適切な配置	お子さん3名につき2名の職員配置を基準としていますが、必要に応じて増やしています。	(はい 11、どちらともいえない 1)	内覧できる機会を設けるなど、発信の仕方を変えていきたいです。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	準備、生活、あそび、それぞれのスペースですみ分けをしたり、視覚支援を行っています。	(はい 7、どちらともいえない 1、わからない 4)	配慮している点を説明し、設備を見ていただく機会を設けます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	確保しています。	(はい 8、どちらともいえない 1、わからない 3)	配慮している点を説明し、設備を見ていただく機会を設けます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ケース検討や職員会議での時間を設けているが、全員が参画できているとは言えません。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	西宮市児童通所支援連絡会の相互評価に参加しています。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月1回、職員研修を開催、年に2回程度外部の研修に参加しています。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	毎週ケース検討を行い、アセスメント、目標設定をしていますが、全ての利用者に十分には実施できていないです。	(はい 11、どちらともいえない 1)	アセスメントツールに基づき、定期的にモニタリングを行い、適切な計画を立てていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々、小集団やグループに分かれて出の活動を行い、その中で個別の関わりを行っています。	(はい 11、どちらともいえない 1)	今後も就園に向けて小集団の経験を持ちながら個別の活動が取れるように計画書を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子さんに応じて項目・目標を設定しています。	(はい 11、どちらともいえない 1) * 個人差に応じた支援等、今後小学校就学に向けて続けて行ってほしい。	身辺自立、ことば、社会性などの項目を設定し、お子さんに応じた具体的な支援内容を考えています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・1週間ごとに3名の職員がローテーションで週案を立案しています。(AM児童) ・年間計画、月案、週案を作成し、掲示、配布しています。(PM児童)	(はい 10、どちらともいえない 2)	職員間は、ケース検討で共有しています。今後は保護者に向けても日ごとに発信していきたいです。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各チームで行っています。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日支援はおこなっていません。 長期休暇では、保護者の要望に応じてPM→AMに変更するなどして対応しました。(PM児童)		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員がローテーションでプログラムを立案しています。季節に合わせてたり、静・動の活動を取り入れたりして工夫しています。外部講師によるリトミックを月3回行っています。	(はい 10、どちらともいえない 1、いいえ 1)	今後も運動、工作、音楽あそび、数、ことば遊びを取り入れたプログラムを工夫していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼で伝え合っています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	できる限り行っていますが、時間がなく十分ではありません。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	時間なく、その日に書けない場合、翌日等に記載しています。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	見直しの時期が、半年を超える場合があります。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	臨床発達心理士、児童発達支援管理責任者、保育士が支援会議に出席しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在医療的ケアが必要な利用されていません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在医療的ケアが必要な利用されていません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援会議や訪問支援を通して、保育園、幼稚園、小学校等との情報交換をしています。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ該当する利用者はいないが、今後は検討していきたい。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	西宮市こども未来センターの研修、西宮市児童通所支援連絡会の研修、療育現場見学等に参加しています。西宮市自立支援協議会のほくぶ会と連携し、ペアレントトレーニングを行っています。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	リトミック(月3回)に企業内保育園児が参加しています。 また、系列保育園の行事に参加したり、園庭に行き遊ぶことがありますが、交流を深めるまでいっていません。	(はい 6、いいえ 1、わからない 5)	リトミックを通して、そのような活動の必要性を感じ、継続していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	特に行事を行っていません。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	必要時に行っています。利用者負担については、入所時、変更時に説明しています。	(はい 12)	今後もできる限り丁寧な説明を心掛けます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画作成時に説明していますが、十分とはいえません。	(はい 8、どちらともいえない 3、わからない 1)	半年ごとに内容をお伝えするように努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングの研修講座を年二回実施しています。	(はい 9、どちらともいえない 2、わからない 1) *参加して、良かった。家族向けのプログラムがあれば参加したい。	ななくさ新生園と連携して、就学前のお子さん、小学校低学年のお子さん向けにそれぞれ年1回ずつ行います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや送迎時伝え合っています。	(はい 12)	ノートには、課題に沿った内容の記述に努めます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて保護者面談を実施しています。	(はい 9、どちらともいえない 3) *困ったことがあれば、すぐに相談してもらえる。	定期的に保護者面談を行っていきたいです。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	場所を提供し、保護者会を実施をしています。	(はい 9、どちらともいえない 1、わからない 2)	保護者会開催についておたよりに掲載したり、掲示物を張り出していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	マニュアルに沿って、面談や電話等で対応していますが、保護者、全職員には周知できていないです。	(はい 11、どちらともいえない 1)	苦情受付の対応については、ぼぽデイの入り口に掲示しておきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードや記述式会話ノート等を必要に応じて取り入れています。	(はい 12)	日常の対話ややりとりからも配慮していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月初めにおたよりを発行しています。しかし、保護者に対して日々の細かいやり取りについては、十分とはいえません。	(はい 9、どちらともいえない 3)	保護者のニーズに合った情報を分かりやすく提供していきたいです。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	H.Pの写真掲載の際は承諾を得ています。個人記録は鍵のあるロッカーに保管しています。	(はい 9、どちらともいえない 2、わからない 1)	今後も留意していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成していますが、すべての職員には、十分に周知されていません。	(はい 3、どちらともいえない 3、わからない 6)	保護者に会報等でお伝えします。また、年度初め等に全職員に周知徹底していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月火災、地震、不審者の避難訓練を順に実施しています。	(はい 6、どちらともいえない 1、わからない 5)	毎月行っていることが伝わっていないので、おたよりや掲示などで発信力を高めたいです。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎年、年度初めに実施しています。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	転倒を防止するためのゴムバンドを使用するなどのやむを得ない場合に、保護者の承諾を得ています。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、アレルギー児は利用されていません。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット記載のファイルはあるが、事例集は作成していません。		
満足	1 子どもは通所を楽しみにしているか	個別、集団の場を設定し、一人ひとりのお子さんが楽しい場となるように心がけています。	(はい 12) *「明日ぼぼ行く」と言って楽しみにしている。	個々のお子さんのニーズに合わせ、より一層満足できる場を提供できるように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
年度 2	事業所の支援に満足しているか	一人ひとりのお子さん、保護者の不安やニーズにこたえられるよう、送迎時にお話を聞いたり、支援会議の場で園やご家庭の状況を把握するようにしています。	(はい 12) *こちらに通うようになってとても成長した。	保護者の思いを受け止め、満足できる支援を提供できるように努めます。